

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、常日頃、格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申しあげます。

平成25年度上半期は、停止中の原子力プラントが再稼働できず、電力の需給、事業の収支ともに厳しい状況が続くなか、当社グループが一丸となり、困難な課題の解決に向けた取組みを一步一步進めてまいりました。

とりわけ記録的な猛暑となった今夏の電力供給については、大飯発電所3、4号機の安全・安定運転の継続や、火力発電所の高稼働に万全を期すとともに、設備更新工事中の姫路第二発電所新1号機の営業運転開始時期を前倒しするなど、可能な限りの供給力確保に努めました。また、需要面においても、

お客さまから節電・省エネルギーへのご協力をいただくとともに、省エネルギー・ピーク電力抑制に資するエネルギーマネジメント活動を進めるなど、需給両面の取組みにより、安定供給を全うすることができました。

株主のみなさまには、節電・省エネルギーに格別のご理解、ご協力を賜りましたことに、厚く御礼を申しあげます。また、今冬についても、大飯発電所3、4号機が本年9月に定期検査のため停止するなど、電力需給は依然として厳しい見込みであるため、引き続きご無理のない範囲で節電・省エネルギーにご協力いただきますよう、重ねてお願い申しあげます。

当社の第2四半期決算については、収入面では、節電の効果などにより販売電力量は減少いたしました。電気料金の値上げ等に伴い電灯電力料収入が増加するとともに、支出面では、燃料費は増加したものの、大飯発電所3、4号機が安定して稼働したことにより他社からの購入電力料が減少したことに加え、工事の実施時期の繰り延べや経営効率化などにより修繕費および諸経費が減少したことなどから、売上高、利益ともに改善いたしました。しかしながら、中間配当については、今後の経営環境が依然として不透明であることから、実施しないことといたしました。

株主のみなさまには、大変なご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

平成25年度下半期は、こうした厳しい状況を踏まえ、当社グループの総力を結集して、安全性が確認された原子力プラントの再稼働、電力の安全・安定供給の完

目次

	ページ
株主のみなさまへ	1
事業の概況	3
連結財務諸表	5
個別決算の概要 その他	7
かんでんNOW	8
インフォメーション	12

遂、収支改善に向けた経営効率化など、喫緊の課題の解決に最優先で取り組んでまいります。加えて、お客さまニーズの変化や電力システム改革に迅速、的確に対応し、これからもお客さまにお選びいただける企業となるよう全力を尽くしてまいります。

原子力プラントの再稼動については、新たな規制基準に確実に対応することはもとより、規制の枠組みにとどまることなく、安全性向上対策を自主的・継続的に進め、世界最高水準の安全性を追求してまいります。そのうえで、安全性が確認されたプラントについて、地元をはじめとするみなさまのご理解を賜わりながら、早期の再稼動に向けて全力を尽くしてまいります。

電力の安全・安定供給の完遂については、原子力プラントの早期再稼動はもとより、火力発電所の定期点検の延期や姫路第二発電所新3号機の発電開始時期の前倒しなど、最大限の供給力確保に努めるとともに、設備の安全・確実な運転・保全等に万全を期してまいります。あわせて、省エネルギー・ピーク電力抑制に資するエネルギーマネジメント活動などに、引き続き取り組んでまいります。

経営効率化については、資産効率の向上、修繕費の抑制、資材調達や燃料調達の効率化など、あらゆる分野において、収支の改善に向けた取組みを進めてまいります。

加えて、総合エネルギー、情報通信、生活アメニティ分野をはじめとするグループ事業の拡大や、電力分野で蓄積したノウハウが活用できる国際事業への参画など、グループ一体となった収益拡大にも取り組んでまいります。

また、引き続き、火力発電の高度利用、太陽光・風力発電の開発やスマートグリッド構築などによる再生可能エネルギーの普及・拡大を推進してまいります。

さらに、電力システム改革についても、真にお客さまの利益につながる改革となるよう、引き続き詳細検討に協力するとともに、お客さまの選択肢の拡大につながる新たなサービスの提供に努めてまいります。

当社グループは、CSRを経営の基軸に、これらの諸施策を実行することにより、「お客さまと社会のお役に立つ」という変わらぬ使命を果たすとともに、株主のみなさまのご期待にお応えできるよう努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

平成25年11月



取締役会長 森 詳介



取締役社長 八木 誠